九州ネット

報　告

九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド）　令和７年７月 12 日（土）　ハイブリッドにて開催

鹿児島県は，例年通りの酷暑に加え，桜島の降灰という状況でした。さらに，土曜授業日や学期末も重なり，大変お忙しい中だったのですが，県内外から４８人（オンライン参加１２人を含む）の方々に参加いただき，九州体育・保健体育ネットワーク研究会＜鹿児島黒豚ラウンド＞を開催しました。今回のラウンドでは，次期学習指導要領改訂を見据えながら，現行の学習指導要領の内容についての理解を深めることができました。

情報交換会では，「南の宝箱」と呼ばれる鹿児島の食材を楽しみながら，「体育の評価とは・・・」「若手教員に学ぶ場を創ろう！」など，様々な話題で，一層の親睦を深めることができました。

１　トピックス：「中央教育審議会への諮問を踏まえたこれからの体育」

（桐蔭横浜大学　教授　佐藤　豊）

「中央教育審議会への諮問を踏まえたこれからの体育」について

「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問が昨年 12 月に出されましたので，その後の教育課程企画特別部会等の資料も踏まえながら説明をいただきました。

まず，「中核的な概念・方略」については，概念的な知識・具体的な知識・方法的な知識の関係について，マット運動回転系を例に説明していただきました。今後は，各教科等の特質に応じた「見方・考え方」と今後新たに整理される「中核的な概念・方略」，個別の「知識及び技能」，「思考力，判断力，表現力等」の関係がどのように整理されるのか注視したいと思いました。

また，「学びに向かう力，人間性等」の体育学習の重要性について，黒豚ラウンド資料の６枚目のスライドにもある YouTube 動画の内容にも触れながら，人格形成の視点からスポーツの価値として「学びに向かう力，人間性等」の内容の大切さについても説明いただきました。改訂の情報はあくまで審議のプロセスであり，これらに振り回されず現行の学習指導要領をどのように具体化していくかが大切であることを共有しました。その他，学生や若い教員も参加していたことから，「身に付けたい実践的指導力」や「よい体育授業の二重構造」についても説明いただきました。改めて，授業作りや教師の指導力ということについて再考する機会となりました。

２　実践発表：「自ら学びを調整し主体的に学び生徒の育成」～学習方略の効果的な使用を促すルーブリックの活用～

（鹿児島市立伊敷中学校　教諭　柳　威史）

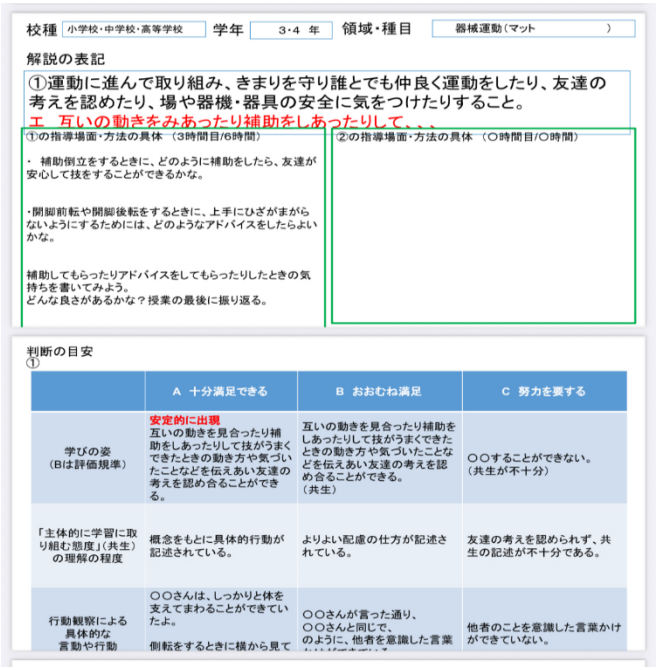
鹿児島市立伊敷中学校の実践を紹介していただきました。ルーブリックを活用して，生徒のパフォーマンスの向上を目指していく実践でした。ルーブリック（判断の目安）を生徒と共有して，ルーブリックの内容を踏まえながら，自己の学びを調整しながら活動する生徒が増えてきたという成果が見られたとのことでした。生徒にルーブリックを示した際に学習指導要領の内容を踏まえた文言を使用しすぎたために，生徒に使ってもらえなかったことから，生徒の言葉で整理し直した等の苦労談も聞かせていただきました。

参加者からは，ルーブリックの内容やルーブリックの生徒との共有の仕方等について意見が出ました。これらの意見を踏まえて，次年度へ向けて更に研究を進めてほしいです。

３　グループワーク「学びに向かう力，人間性等の指導と評価」

（鹿屋体育大学　教授　栫　ちか子）

佐藤先生のトピックスとのつながりの中で，栫先生に，「学びに向かう力，人間性等の指導と評価」グループワークを準備していただきました。まず，学習指導要領におけるある学年の「学びに向かう力，人間性等」の内容を抜き出し，その内容を単元のどの時間に，どのような働き掛けをして指導するのか検討しました。その後，学びの姿の判断の目安を検討しました。参加者からは，「学びに向かう力，人間性等」について評価はしてきたが，具体的な指導方法を考えることが少なかったという声が聞かれました。体育・保健体育科の特質である内容だけに，参加者も自己の授業を振り返るよい機会になったと思います。


校種 小学校・中学校・高等学校　学年 3・4 年　領域・種目 器械運動（マット　）

解説の表記

①運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器機・器具の安全に気をつけたりすること。

エ　互いの動きをみあったり補助をしあったりして、、、

①の指導場面・方法の具体　（3時間目/6時間）

・　補助倒立をするときに、どのように補助をしたら、友達が安心して技をすることができるかな。

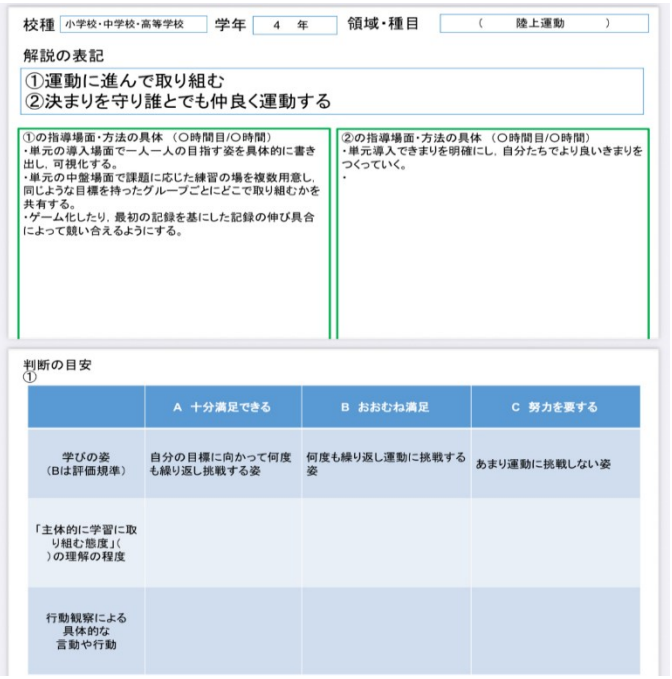
・開脚前転や開脚後転をするときに、上手にひざがまがらないようにするためには、どのようなアドバイスをしたらよいかな。

補助してもらったりアドバイスをしてもらったりしたときの気持ちを書いてみよう。
どんな良さがあるかな？授業の最後に振り返る。

②の指導場面・方法の具体　（○時間目/○時間）

判断の目安
①

	A 十分満足できる	B おおむね満足	C 努力を要する
学びの姿（Bは評価規準）	安定的に出現 互いの動きを見合ったり補助をしあったりして技がうまくできたときの動き方や気づいたことなどを伝えあい友達の考えを認め合うことができる。	互いの動きを見合ったり補助をしあったりして技がうまくできたときの動き方や気づいたことなどを伝えあい友達の考えを認め合うことができる。（共生）	○○することができない。（共生が不十分）
「主体的に学習に取り組む態度」（共生）の理解の程度	概念をもとに具体的行動が記述されている。	よりよい配慮の仕方が記述されている。	友達の考えを認められず、共生の記述が不十分である。
行動観察による具体的な言動や行動	○○さんは、しっかりと体を支えてまわることができていたよ。 側転をするときに横から見て	○○さんが言った通り、○○さんと同じで、のように、他者を意識した言葉	他者のことを意識した言葉かけができていない。


校種 小学校・中学校・高等学校　学年 4 年　領域・種目 （　陸上運動　）

解説の表記

①運動に進んで取り組む
②決まりを守り誰とでも仲良く運動する

①の指導場面・方法の具体　（○時間目/○時間）
・単元の導入場面で一人一人の目指す姿を具体的に書き出し，可視化する。
・単元の中盤場面で課題に応じた練習の場を複数用意し，同じような目標を持ったグループごとにどこで取り組むかを共有する。
・ゲーム化したり，最初の記録を基にした記録の伸び具合によって競い合えるようにする。

②の指導場面・方法の具体　（○時間目/○時間）
・単元導入できまりを明確にし，自分たちでより良いきまりをつくっていく。
・

判断の目安
①

	A 十分満足できる	B おおむね満足	C 努力を要する
学びの姿（Bは評価規準）	自分の目標に向かって何度も繰り返し挑戦する姿	何度も繰り返し運動に挑戦する姿	あまり運動に挑戦しない姿
「主体的に学習に取り組む態度」（　）の理解の程度			
行動観察による具体的な言動や行動			

４　おわりに

今回の鹿児島黒豚ラウンドでは，計４８人（オンラインを含む）が県内外から一堂に会して，これからの体育を見据えながら現行の学習指導要領について理解を深めることができました。今回も，御多用にも関わらず，御指導くださいました佐藤先生，準備等でお世話になりました栫先生をはじめ，遠方から web で参加してくださった先生方，参加してくださったすべての先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。また，参加者多数により，若干スタートがバタバタしたことをお詫び申し上げます。

（報告者：鹿児島県　阿部）